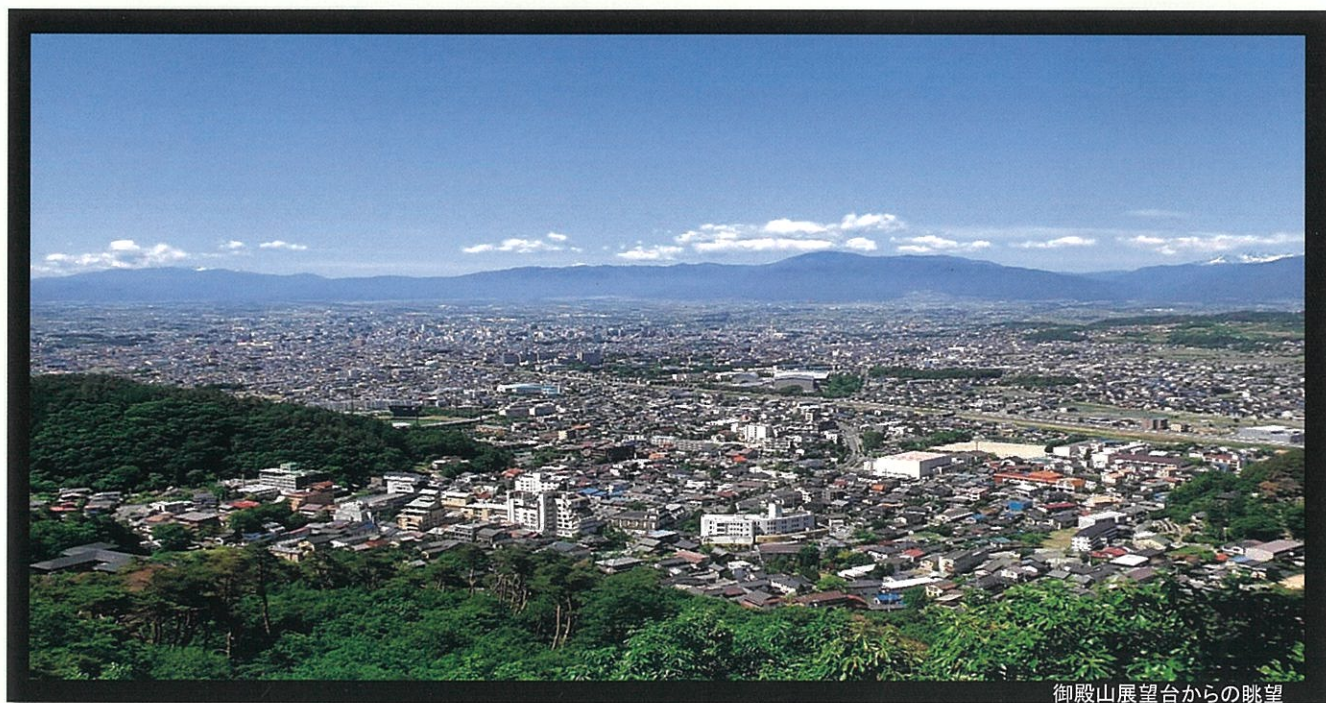
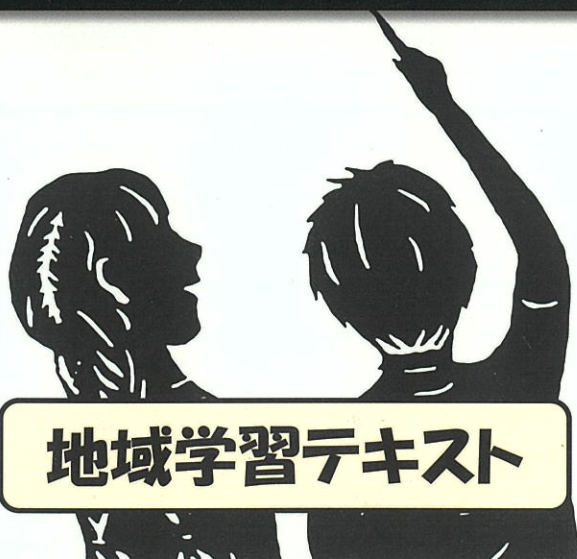




図案は本郷村の村章になった金銅冠をイメージデザイン



御殿山展望台からの眺望



地域学習テキスト



稲倉

浅間カントリー

栗和田池

800

女鳥羽川

三才山

洞

原

鳥の入沢

御殿山  
展望台  
840

大正山  
1,060

番場池

横谷沢

大音寺山  
887

山田沢

美鈴湖  
997

水路

水汲

浅間

桜ヶ丘

自転車競技場  
1,012

美鈴湖  
もりの国  
1,061

慰霊塔  
1,132

美ヶ原林道

渋池  
1,200

南浅間

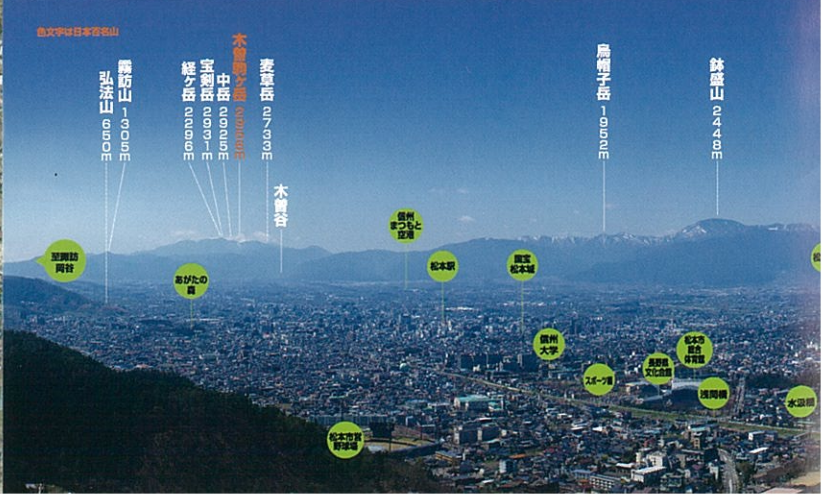
大村

かりかね  
サッカー場

### 御殿山展望台からの眺望

(資料提供：浅間温泉観光協会)

※文字は日本語名



霧防山 1,050m

弘法山 950m

木曾谷

妻草岳 950m

中田 950m

経ヶ岳 950m

木曾谷

美鈴湖

鳥帽子岳 1,050m

鉢巻山 948m

浅間温泉

浅間大学

浅間文化センター

浅間公園

浅間温泉

浅間温泉

浅間温泉

浅間温泉

浅間温泉

浅間温泉

浅間温泉

浅間温泉

# 松本のまほろば “本郷”

H25.5  
撮影

-----  
有害鳥獣防護柵



松本のまほろば本郷地区は、松本市の東北に位置しています。背後に連なる、美ヶ原の武石峠、三才山峠などを源に女鳥羽川は流れ、松本へ豊かな水を運んでいます。女鳥羽川上流には「烏帽子岩」があり、神が宿る岩として地元の人にあがめられています。北部には、三才山、稲倉、洞、原、水汲の町会があり、中心部には、古い歴史を持つ浅間温泉があります。南部には、南浅間、大村、惣社、横田の町会があり、本郷地区全体では、およそ1万5千人が暮らしています。



# 地 勢

本郷地区は長野県のほぼ中央、松本市の東北、筑摩山地の山麓に位置します。面積の83%が山地で、その山地を源とする女鳥羽川は扇状地を作り、里に集落・水田・畑地を形成しています。中心部の浅間温泉は信州まつもと空港から約15km松本駅より約5km、標高は約650mにあります。

- 面積 38.28 km<sup>2</sup>
- 広 さ 東西 約9km 南北 約7.4km
- 標 高 横田1丁目付近599.3m～美鈴湖997m～思い出の丘1,935m
- 緯度・経度 (本郷支所付近) 北緯36° 15' 35" 東経137° 59' 21"

本郷村制施行 明治22年4月  
 松本市制施行 明治40年5月  
 合併 昭和49年5月



## 松本市 (合併町村)



# 人 口

( 人 )

	三才山	稲倉	洞	原	水汲	浅間 (8町会)	南浅間	大村 (3町会)	横田 (6町会)	惣社 (3町会)	合計
文政1 (1818)	424	441	232	131	131	526	(大村)	234	123	219	2,459
明治22 (1889)	602	525	302	161	149	1,019	(大村)	301	230	331	3,617
昭和25 (1950)	953	731	316	265	280	3,592	227	520	785	461	8,130
昭和48 (1973)	644	527	265	388	767	4,058	1,077	1,437	2,224	1,389	12,776
平成9 (1997)	539	458	271	946	851	4,300	980	2,161	3,393	2,449	16,348
平成27 (2015)	406	378	275	740	770	3,386	761	1,870	3,719	2,711	14,476
令和7 (2025)	317	315	230	948	921	3,048	695	1,804	3,241	2,880	14,339

# 行事

4月  
5月  
6月  
7月  
8月  
9月  
10月  
11月  
12月  
1月  
2月  
3月

## 春祭り

4/29 原 穴田観音堂さくら祭り  
5/2~3 大村 大宮神社例祭  
社宮司神社例祭  
横田 横田神社例祭  
惣社 伊和神社例祭



・6/下旬 ツール・ド・美ヶ原自転車レース  
・6/下旬 親子ホテル観察会



・7/月上旬 自然体験(育成会)

## 夏祭り・納涼祭

7/下旬~8/月上旬  
三才山、洞、水汲、横田1  
8/中旬 浅間、浅間夕市  
大村、惣社、横田3-7



・8/下旬 女鳥羽川自然観察会

・9/中旬 敬老会

## 運動会



9/下旬 惣社、横田3-7  
10/中旬 横田1  
10/下旬 洞、水汲  
稲倉、原  
三才山

・10/15 本郷地区慰霊祭  
・10/中~下旬 親子ニュースポーツ(育成会)

## 文化祭

10/下旬 三才山、惣社  
11/月上旬 原、水汲、大村、横田3-7  
11/第2金・土・日 本郷地区



・12/月上旬 三九郎作り講習会(育成会)  
・12/中旬 親子そば打ち教室(育成会)

## 三九郎

1/第2土 三才山(6ヶ所)、稲倉  
洞(3ヶ所)、原、水汲  
浅間(5ヶ所)  
南浅間、横田  
1/第2日 大村(2ヶ所)、惣社



・中旬 本郷里山トレッキング



・4/中旬 へらぶな釣り大会  
・4/29日 護国神社例祭  
・5/中旬 玄向寺ぼたん祭り  
美ヶ原高原開山祭



・6/中旬 萬生物供養祭(浅間)  
・6/下旬 ホテル祭り(浅間)



・7/1 水神様(浅間2)

・7/海の日 天満宮例祭(浅間)



・8月 七夕人形飾り(浅間)  
・8/13 ダンボ(南洞)



・9/中旬 下浅間  
薬師堂例祭



## 秋祭り

10/第2土・日 浅間 御射神社(春宮)松明祭  
原 平野神社例祭  
10/第2日・月 三才山 御射神社(秋宮)例祭  
稲倉 水口神社例祭  
洞 住吉神社例祭  
10/21 三才山 奥社(のっこば)例祭

・11/月上旬  
浅間温泉新そば祭り



・11月お十夜念仏(三才山)



## 道祖神祭

・1/中旬 三才山、稲倉、横田  
・3/中旬 洞



・初庚申 だるま市 (R7まで実施)  
・2/11 横手の春祭り(浅間1)

・3/月上旬 八日念仏(大村)

# 歴史

時代	和暦	西暦	主なできごと
弥生			浅間温泉を始め各地から遺跡遺物が出土している。地形・自然環境かつ温泉湧出などからみて原始の人々の生活に適した地帯であった
古墳	3世紀末 ～7世紀		桜ヶ丘古墳は5世紀中頃のもので松本地方でも最古に属し、県宝の「金銅冠」①を出土。その他丘陵の突端・平地に古墳は24基を数える
飛鳥	天武14	685	天武天皇が東間の湯に行宮を造らしめた記事が日本書紀に見える 浅間温泉か湯ノ原か確証はないが、1300年以前から都に知られていた
平安	初期		信濃の国府が上田から惣社付近に移り鎌倉時代まで政治の中心となった大村には国司塚（古墳）や廃寺跡があつて布目瓦等が出土している
鎌倉	文治2	1186	吾妻鏡に京都の平野社領の荘園として「浅間社」という名称が登場する えぼし岩奥宮②は浅間社の奥社。浅間社は神宮寺③を別当寺としている
	正応5	1292	中国よりの渡来僧円空が大般若経を写経し神宮寺に奉納している
	嘉暦4	1329	大村の大宮神社、横田神社はこの頃諏訪社となる
建武	建武2	1335	信濃は北条党との動乱が起き、諸将が浅間宿に集まっている 政治の中心が一時期にあつたらしく、館の跡はびわの湯周辺にある 大村にも地頭がいたと思われる「くるわ」がある  この頃、小笠原氏の一族の赤沢氏が、浅間郷の地頭として下浅間に居館を構え、諏訪から御射（山）神社を勧請したと言われている
	天文19	1550	戦国時代になると赤沢氏は稲倉に移り稲倉城を初めとして山城を築く 武田信玄が小笠原長時を攻め深志城を占拠(以降30年余支配) その際赤沢氏は井深城と洞山砦(早落城)を攻めいち早く取り戻すことができた
戦国	天正10	1582	小笠原貞慶が家康の支援を得て武田氏を攻め、深志城を松本城と改名
	天正18	1590	豊臣秀吉天下統一 石川数正が松本城主となる
安土・桃山	文禄2	1593	石川康長、松本城築造を始める④ 本郷山の材木や大正山の石が運び出された 浅間御殿新築、芦ノ田池築堤 大音寺三重の塔は九輪を抜かれ大破
	慶長12	1607	石川康長(三長)の主導により芦の田池完工(美鈴湖) 栗和田池の築堤完了
江戸	元和元	1615	江戸時代に入ると浅間の湯宿も増え、善光寺参りの湯治客や文人墨客が多く訪れ、岡田などの宿場と論争を起こすことがあつた 松本城主が保養のために御殿を造る 以後、歴代松本藩主専用の湯、士族の湯、庶民の湯に分けられ、明治時代まで続いた
	元和4	1618	小笠原秀政・忠脩父子は大阪夏の陣で戦死 戸田氏の家老により大音寺再興、大日堂を建立
	寛永3	1626	検地を5年実施。浅間村から浅間・原・水汲に、稲倉村から稲倉・洞に分かれこれまでの三才山、大村、惣社、横田と合わせて9村となる
	万治2	1657	水野忠職は浅間御殿と湯薬師を新築、御殿山に天満宮を勧請
	寛文8	1668	水野忠職、三才山御射神社秋宮に虚空蔵宮を再興 幟10本寄進する
	寛文9	1669	水野忠直は大村の清光寺を玄向寺と改め山麓に廟所をつくる⑤
	貞享2	1685	荒廃していた小笠原家(小笠原貞慶、秀政、忠脩父子)の廟所をつくる⑥
	寛保2	1742	浅間横谷沢の山崩。湯坂は大被害を受け集団移住して下浅間ができた

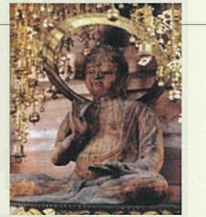
① 金銅冠レプリカ



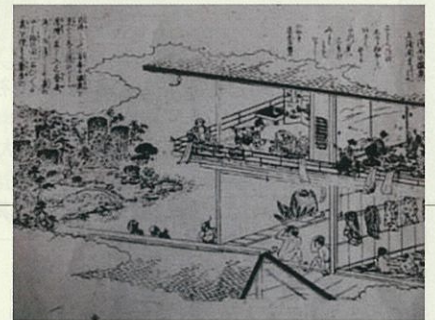
② 烏帽子岩



③ 神宮寺



④ 松本城



「善光寺道名所図会」(1849) 天保年間には、おしんこ餅、温泉饅頭、浅間焼などの名物も生まれた

⑤ 水野家廟所



⑥ 小笠原家廟所



時代	和暦	西暦	主なできごと
明治	明治6	1873	明治中期、浅間では蚕種業が盛んになり、県外宿泊客が増えた 浅間温泉は、信州5大温泉としてこの頃より全国に知られるようになった
	明治8	1875	寺堂を利用して学校が開設された(三才山、稲倉、横田、浅間学校)
	明治22	1889	本郷の9か村は岡田の4か村と合併して岡本村となる(明治15年まで)
	明治33	1899	本郷村が誕生し浅間に村役場を置く
	明治41	1908	浅間に電燈がつき、浅間温泉は不夜城のごとしとある
	明治42	1909	松本・浅間間電話開通(桃の湯、目の湯、中村医院) ⑦
	明治45	1911	松本・浅間間電話開通(桃の湯、目の湯、中村医院) ⑦ 本郷尋常高等小学校が開校(本郷、浅間、横田、三稲の4小統合) ⑧ 浅間の宿泊料は、一等金1円50銭 昼食料70銭、この年浴客6万人
大正	大正6	1917	大正時代の浅間は、蚕種業の隆盛により活況を呈し、電車の開通で 旅館や商店も増え、松本の奥座敷として賑わった 与謝野晶子、伊藤左千夫、吉井勇、萩原井泉水、石井柏亭の歌碑、句碑あり
	大正11	1922	松本-浅間間10人乗り乗合自動車運転 浅間で、県下初の自動車事故発生 ⑨
	大正13	1924	浅間橋完成(県下初の鉄筋コンクリート橋)
	大正15	1926	筑摩鉄道浅間線(チンチン電車)が敷かれ営業開始 ⑩ 浅間は温泉旅館と蚕種業兼業から温泉旅館へと発展 県営野球場、県営運動場が県下で初めてつくられる 六助池で第1回日本学生氷上選手権開催される
昭和	昭和3	1928	第2次世界大戦中は、浅間温泉に東京から疎開児童を受け入れた 戦後の発展に伴い、浅間は活気づく 昭和49年に本郷村は松本市と合併、新たなスタートを踏み出した
	昭和4	1929	本郷小学校内に本郷図書館が置かれる
	昭和6	1931	浅間節発表(野口雨情作詩 中山晋平作曲 歌:小杉真貴子)
	昭和7	1932	松本競馬場(庭球公園の南)春・秋の開催期間は浅間の旅館は満館 ⑪ 戦争による軍馬資源保護法の制定により昭和13年秋で廃止となる この頃、浅間の地本屋の南側に25m温泉プールができ昭和35頃まで営業⑫
	昭和9	1934	土引山の先端に桜を植え「桜ヶ丘」と名付け桜の名所となったが、 後に戦争が始まると食料をつくるために伐られた
	昭和11	1936	県野球場でアメリカ野球団ベールブルース、ゲーリックらと交歓試合する
	昭和12	1937	村内の旅人宿業17、湯屋2、温泉内湯業41、貸座敷業16 貸切自動車18台、芸妓置屋39 芸妓79人
	昭和16	1941	本郷小学校に二宮尊徳像
	昭和19	1944	浅間線の駅名が軍の要請により連隊裏から三軒屋へ改称 太平洋戦争開戦 本郷地区親睦運動会(平成10年まで続く) ⑬ 浅間の旅館は廃業閉鎖、学童疎開受け入れ(東京都世田谷区 東大原国民学校 太子堂国民学校 代沢国民学校 駒繁国民学校 山崎国民学校 二子玉川国民学校 第一師範付属 2,498名) ⑭
	昭和20	1945	出撃のため滞在中の特攻隊員と疎開児童との交流があった⑮ 8月終戦
	昭和22	1947	新学制実施により本郷村立本郷小学校と改称
	昭和23	1948	浅間に集団腸チフス流行
	昭和26	1951	本郷村・岡田村中学校組合立 女鳥羽中学校設立⑯ 公民館活動始まる 11月14日から3日間本郷村総合文化祭
	昭和28	1953	芦の田池を美鈴湖と改称 この頃、浅間温泉で映画ロケ、高島忠夫や久保菜穂子ら訪れる
	昭和30	1955	美ヶ原観光KK設立、浅間一武石間林道工事完了 美鈴湖観光開発 浅間温泉スキー場開発
昭和32	1957	新浅間温泉開湯(後に横田温泉 8軒→3軒 玄向寺北から引湯) 国鉄バス、浅間温泉から武石林道に運行開始 翌年から天狗の露地まで運行	

⑧ 本郷尋常小学校



⑦ 電話開通



⑨ 自動車事故(港の湯前)



⑩チンチン電車開通(浅間温泉駅)



⑪ 浅間に競馬場



⑫ 温泉プールできる



⑬ 本郷地区親睦運動会



⑭ 学童疎開



⑮ 特攻隊と疎開児童の交流



敬老会(昭和27年頃~)



⑯ 校章

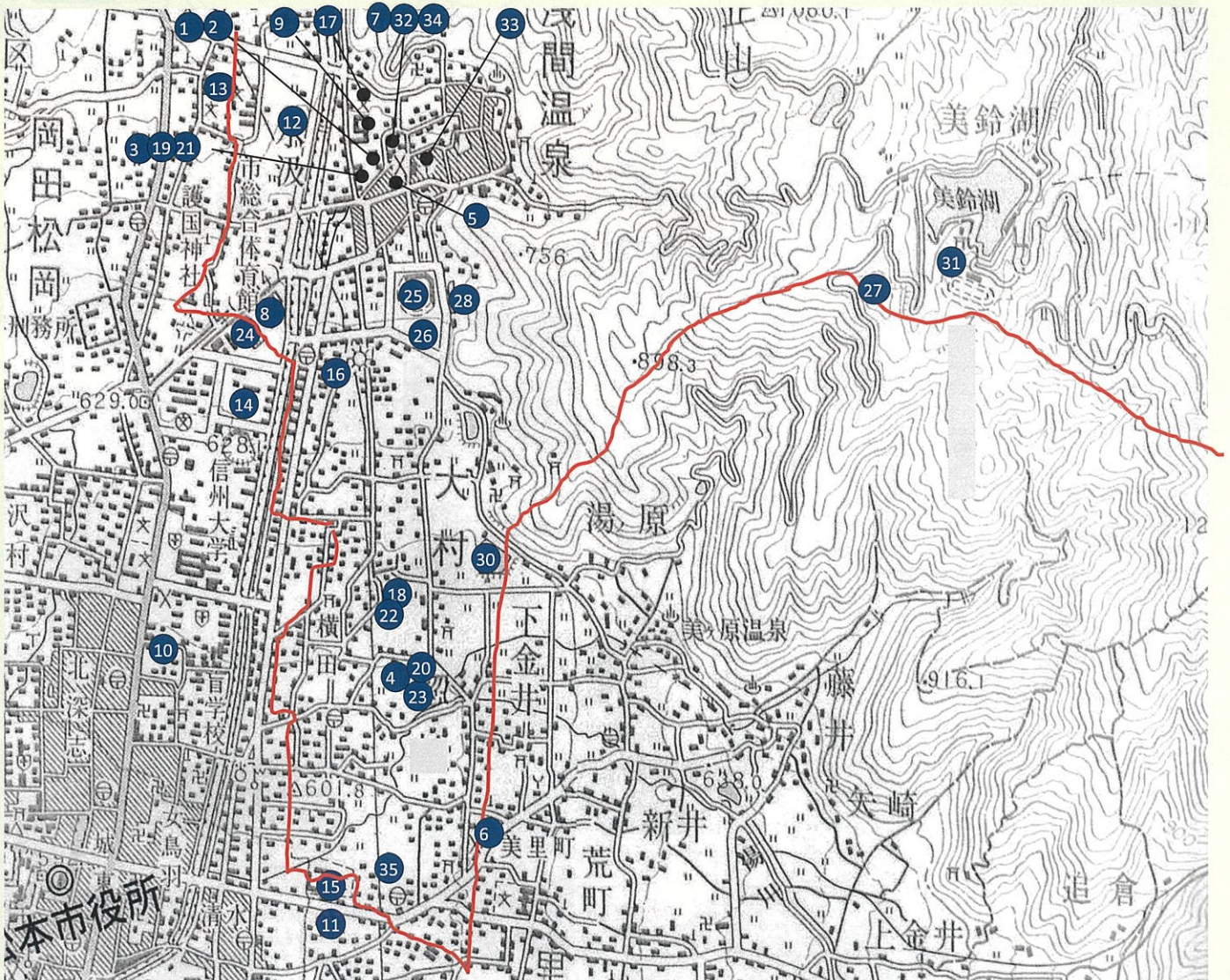


時代	和暦	西暦	主 な で き ご と	
昭和	昭和35	1960	<p>浅間温泉芸苑組合(昭和29~)検番制度設ける            本郷高等学校設立(昭和59年に松本第一と改称)            国民宿舎美鈴荘(レイクサイド美鈴~H22)            第15回国体スケート大会 美鈴湖で開催、国体史上初の村開催            天然リンクで有名となる            三稲分教場は、浅間温泉スキー場宿舎として払下げられる ⑰</p>	<p>⑰ 浅間温泉スキー場</p> 
	昭和38	1963	<p>浅間温泉火焰太鼓保存会発足</p>	<p>⑱ 浅間温泉国際スケートセンター</p> 
	昭和39	1964	<p>電車浅間線廃線、バス運転となる            美ヶ原八ヶ岳中信高原が国定公園に指定される            美ヶ原モーターロッジ竣工 美ヶ原登山マラソン始まる</p>	<p>⑲ 三才山トンネル開通</p> 
	昭和42	1967	<p>本郷村役場新築 本郷幼稚園開園 殉国学徒慰霊塔建立</p>	
	昭和44	1969	<p>浅間温泉国際スケートセンター完成(~H23)⑳            金銅冠県宝指定 村章となる</p>	
	昭和45	1970	<p>本郷小学校全面新築            第25回国体スケート大会、浅間温泉国際スケートセンターと美鈴湖で開催</p>	<p>㉑ 松本市野球場</p> 
	昭和49	1974	<p>本郷村松本市と合併</p>	
	昭和50	1975	<p>松本社会文化会館竣工 本郷南幼稚園開園</p>	
	昭和51	1976	<p>三才山トンネル開通㉒ 南浅間が大村から分かれる</p>	
	昭和53	1978	<p>第33回やまびこ国体スケート大会、浅間温泉国際スケートセンターで開催</p>	<p>㉓ ツール・ド・美ヶ原</p> 
昭和62	1987	<p>かりがね運動場・自転車競技場、浅間温泉会館(ホットプラザ浅間)竣工</p>		
昭和63	1988	<p>本郷地区こども会若獅子太鼓発足</p>		
平成	平成元	1989	<p>各町会で「ふれあい会食会」始まる 松本浅間カントリークラブ開設</p>	
	平成3	1991	<p>市野球場㉑が完成、市総合体育館・県松本文化会館が建てられる</p>	<p>㉒ 大規模山林火災</p> 
	平成6	1994	<p>本郷支所・公民館・図書館が現在の場所に新築移転</p>	
	平成7	1995	<p>本郷合併20周年記念式典開催される            のぼら保育園、福祉ひろば、児童センターの複合施設完成            本郷地区新年会、本郷地区慰霊祭がこの年から始まる</p>	
	平成8	1996	<p>本郷体育館竣工</p>	
	平成12	2000	<p>第1回ツール・ド・美ヶ原自転車レース開催 ㉑</p>	
	平成14	2002	<p>大規模山林火災発生、山林約176㊦を焼く ㉒</p>	<p>㉓ かりがねサッカー場</p> 
	平成20	2008	<p>南郷保育園、南郷福祉ひろば、南郷こどもプラザの複合施設竣工</p>	
	平成22	2010	<p>桜ヶ丘古墳出土品 甲冑等副葬品63点が県宝指定となる</p>	
	平成27	2015	<p>かりがねサッカー場 ㉓ 下浅間広場竣工 美鈴湖自転車競技場 ㉔</p>	<p>㉕ 本郷地区ささえあいの会</p> 
平成28	2016	<p>JA本郷支所、女鳥羽支所に統合</p>		
平成29	2017	<p>本郷地区ささえあいの会発足 ㉕</p>		
平成30	2018	<p>旭町中学校70周年記念</p>		
令和	平成31 (令和元)	2019	<p>水汲公民館竣工</p>	<p>㉖ 三才山トンネル料金ゲート</p> 
	令和2	2020	<p>三才山・松本トンネル無料化 ㉖            新型コロナウイルス感染拡大により経済・社会生活激変 ㉗</p>	<p>㉗ ワクチン接種</p> 
	令和3	2021	<p>清水小学校70周年</p>	
	令和4	2022	<p>旭町小学校100周年            三才山公民館竣工</p>	<p>㉘ 合併50周年記念式典</p> 
	令和5	2023	<p>ウィズコロナ 各種行事再開</p>	<p>㉙ 自主運営出発式</p> 
	令和6	2024	<p>本郷地区松本市合併50周年記念式典 ㉘</p>	
	令和7	2025	<p>みんなのバス自主運営開始 ㉙</p>	

# 施設

官 公 庁	① 本郷支所・公民館 【平6】 46-1500 浅間温泉2-9-1	② 本郷図書館 【平6】 46-1262 浅間温泉2-9-1	③ 本郷福祉ひろば 【平7】 46-1168 浅間温泉2-9-2	④ 南郷福祉ひろば 【平20】 32-6270 横田3-23-1
	⑤ 浅間温泉交番 【昭29】 46-1944 浅間温泉2-5-3	⑥ 惣社交番(※) 【平15】 32-0637 里山辺380-4	⑦ 本郷消防署 【平12】 46-2700 浅間温泉2-6-1	⑧ キッセイ文化ホール【平3】 34-7100 水汲69-2
教 育	⑨ 本郷小学校 【昭22】 46-0495 浅間温泉2-9-5	⑩ 旭町小学校(※通学区) 34-1124 旭2-4-4	⑪ 清水小学校(※通学区) 32-1210 清水2-8-18	⑫ 東部給食センター【平21】 45-1120 原7-1
	⑬ 女鳥羽中学校 【昭26】 46-0285 原1085-2	⑭ 旭町中学校(※通学区) 32-1124 旭3-7-1	⑮ 清水中学校(※通学区) 32-2078 清水2-7-12	⑯ 松本第一高校 【昭59】 46-0555 浅間温泉1-4-17
	⑰ 本郷幼稚園 【昭42】 46-1876 浅間温泉2-12-15	⑱ 本郷南幼稚園 【昭50】 35-5165 横田4-25-2	⑲ のぼら保育園 【平7】 46-1877 浅間温泉2-9-2	⑳ 南郷保育園 【平20】 32-5456 横田3-23-1
	㉑ 浅間児童センター 【平7】 46-0605 浅間温泉2-9-2	浅間児童センター 浅間つどいの広場	㉒ 南郷児童館 【昭50】 36-1006 横田4-25-1	㉓ 南郷こどもプラザ 【平20】 32-6315 横田3-23-1
ス ポ ー ツ	㉔ エア・ウォーターアリーナ松本 (松本市総合体育館)【平3】 32-1818 美須々5-1(※)	㉕ 松本市野球場 【平3】 46-5555 浅間温泉1-9-1	㉖ 浅間温泉庭球公園【平3】 46-6398 浅間温泉1-9-2	㉗ 美鈴湖もりの国 【平7】 46-9990 三才山1871
	㉘ 本郷体育館 【平8】 45-9511 浅間温泉1-40-10	㉙ 稲倉ふれあい広場 【平9】 45-9511 稲倉8074-1	㉚ 信州かりがねグリーンフィールド (かりがねサッカー場)【平27】 32-3230 惣社325	㉛ スカイロードサイクリングスタジアム松本 (美鈴湖自転車競技場)【平27】 46-0036 三才山1830
他	㉜ 浅間温泉観光協会【昭34】 46-1800 浅間温泉2-6-1	㉝ ホットプラザ浅間 【昭62】 46-6278 浅間温泉3-16-2	㉞ 浅間温泉文化センター【平12】 46-2654 浅間温泉2-6-1	㉟ 惣社公園 【平24】 34-3254 惣社600-1

上段は施設名、(※)は本郷地区外にある施設、【 】は開設年。下段は電話番号と住所。



# 本郷地区文化財マップ

(資料提供：本郷地区景観整備委員会)

## 美鈴湖周辺

- 1 武石峠茶屋跡・風穴跡
- 2 田山花袋歌碑
- 3 美鈴湖 (苔の田池)
- 4 石川拈華句碑
- 5 全国殉国学徒英霊慰霊塔

## 三才山周辺

- 6 えぼし岩奥宮
- 7 のっこば奥宮
- 8 ノ瀬阿弥陀堂
- 9 ノ瀬山の神
- 10 御射神社秋宮・金刺盛久歌碑・子安宮・御射大明神・虚空蔵
- 11 観音堂跡
- 12 郷倉跡
- 13 ノ瀬東道祖神
- 14 ノ瀬西道祖神
- 15 本村の梵字庚申塔・念仏供養塔
- 16 本村西の道祖神・庚申塔他
- 17 小日向の道祖神
- 18 小日向薬師堂入口の石像群
- 19 本村東の道祖神・庚申塔他
- 20 薬師堂



洞 ダンボ  
盆に子供たちが集まって、「迎え火」「送り火」として麦わらの束に火をつけて振りまわす行事



三才山 お



浅間 松明祭り



大村 舞台

美ヶ原 温泉



惣社 お船



## 南浅間周辺

- 100 大輔原遺跡
- 101 国司塚
- 102 南浅間道祖神

## 惣社周辺

- 103 雁金池跡・雁金池供養塔
- 104 郷倉跡・惣社村高札場跡
- 105 地藏堂・六地藏・念仏塔・庚申塔・釈迦如来他石仏群  
筆塚 原要左衛門・原喜与右衛門・内藤五郎右衛門
- 106 西の共同墓地の筆塚 小平九郎右衛門・小平新右衛門
- 107 車塚古墳跡
- 108 大街道の石造文化財 馬頭観音・廻国供養塔・道標
- 109 惣社北の道祖神
- 110 伊和神社・大ケヤキ・常夜塔

稲倉周辺

- 21 稲倉城跡・大小空堀(松本市史跡)
22 稲倉城御屋敷館跡
23 稲倉峠 旧道
24 稲倉峠口の道標
25 町の観音堂
26 稲倉館町跡
27 水口神社・大口堰揚口
28 高井の観音堂・石仏群
29 広田寺別院・六地藏
30 刈谷原峠
31 忠魂碑
32 稲倉東の道祖神
33 上道の石像物群

洞周辺

- 34 早落城跡・本麻・二の曲輪・空堀
35 住吉神社・耳きき神様
36 洞学校跡
37 栗和田池・縄文遺跡
38 山の神
39 南洞開道記念碑
40 北洞開道記念碑
41 山城の道祖神・庚申塔
42 古堂墓地の石像仏群
43 南洞日向の道祖神他

原周辺

- 44 平野神社
45 原地蔵堂跡
46 原村郷倉跡
47 下屋敷古墳
48 五反田遺跡
49 穴田観音堂・石仏常光寺跡
50 宮地の石造物
51 戦没者之碑
52 西原の道標
53 折口信夫歌碑

水汲周辺

- 53 水汲古墳跡
54 七日市場跡
55 阿弥陀堂跡・念仏塔・地藏・石仏群
56 郷倉跡
57 栴檀神社・道祖神
58 松本藩矢場跡
59 市体育館付近のイチョウ・サクランボ
60 水汲屋敷跡のケヤキ
61 巡礼塔・馬頭観音
62 松本藩細工場跡・水汲御互役所跡
63 幟幟一対・秋山白巖

浅間温泉周辺

- 64 浅間峠
65 茶臼山城跡
66 木村素衛詩碑
67 神宮寺・薬師寺(松本市重要文化財)・守屋貞治の延命地藏・じっさ・ばばさ石・太子殿・囃月橋・六地藏・貞享義民三浦善七の墓・浅間学校跡・上原三川句碑・与謝野晶子歌碑・高橋玄一郎詩碑
68 御射神社春宮・道祖神・狛犬・石灯笼・筆塚
69 松本城主御殿山小笠原家廟所
70 天満宮(松本市重要文化財)・鷲止山碑・手洗鉢・石灯笼
71 湯薬師・第1号源泉・御竹藪
72 城の内居館跡
73 浅間御殿跡・石川三長お手植えの松
74 浅間の宿跡
75 木村氏浅間焼跡
76 2号源泉・開道記念碑・不動院・花ノ本聴秋句碑・西の宮えびす神社・浅間公園の記碑・松鶴斎一茂碑
77 東泉部薬師堂・老竈堂樓一句碑・シダレサクラ・芭蕉句碑
78 大音寺寺跡・石仏群・六地藏・筆塚
79 山田源泉・山田の御竹藪
80 塔ノ入水神社
81 柳の湯(土族の湯)
82 松の湯源泉・東北源泉・中央分湯場
83 伊藤左千夫歌碑・桜ヶ丘
84 4号源泉
85 仙気の湯
86 桜ヶ丘古墳・庚申堂
87 倉下の湯(扶持取の湯)
88 浅間村高札場跡(郷倉跡)
89 石井柏亭歌碑・荻原井泉水句碑
90 下浅間薬師堂
91 英魂碑
92 赤沢氏居館跡
93 松門文庫
94 川島芳子旧宅跡
95 吉井勇歌碑
96 山方新道開通記念碑
97 下浅間の石造文化財群
98 大屋敷の古墳
99 真観寺跡・石仏・下級武士の墓

三才山城跡

上田市 上丸子

有料道路 三才山トンネル

6 烏帽子岩

上田市 上丸子 土貳石

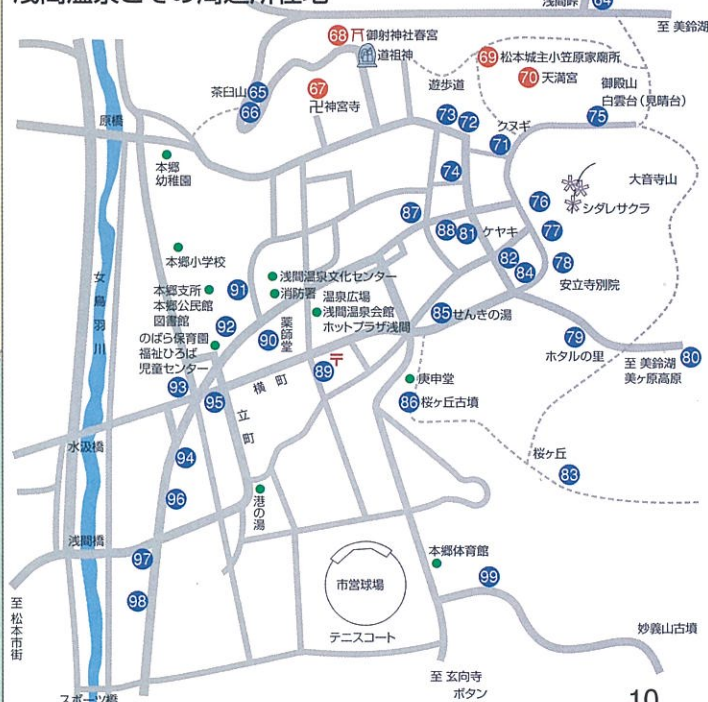
大村周辺

- 112 妙義山古墳 1号 2号 3号
113 大村廃寺跡
114 玄向寺・仁王門・六地藏・百体観音・(境内松本市名勝) 三十三番観音・女鳥羽滝観音・女鳥羽の滝・松本城主水野氏廟所・鳥居・(松本市特別史跡) 荒滝不動明王・富士浅間社・筆塚 竹村政衛門
115 女鳥羽池・女鳥羽池供養塔
116 大村の清水井戸(鏡井戸)
117 大村のくるわ居館跡
118 大宮神社・上手の道祖神・庚申塔・観音塔
119 上村の郷倉跡・念仏塔
120 鉾持社
121 雪中社宮司社・庚申塔・常夜塔・道祖神
122 蚕影神社
123 雪中の念佛供養塔
124 桃仙園古墳跡
125 桃仙園の句碑・女鳥羽山公園碑・道祖神

横田周辺

- 126 横田神社・常夜塔・横田道祖神
127 念仏寺跡・念仏塔・庚申塔・五輪塔
128 横田池跡・弁天様の池
129 郷倉跡
130 松本藩砲屋

浅間温泉とその周辺所在地



## 美鈴湖

### 3 美鈴湖(芦の田池)



松本市内最大の人造湖。  
松本城主石川康長の主導によって、慶長2年(1597)に農業用水として着工し、同12年完工。昭和18年(1943)大改修に着工し、同26年完成。同28年美鈴湖と改称。面積9.6%。  
昭和35年に第15回国体スケート大会開催され、天然リンクの名で全国的に有名になった。

### 5 全国学徒英霊慰霊塔



第2次世界大戦に際し、学業半ばにペンを持つ手に銃を取り、祖国と世界の平和を願い雄々しく散った若き学徒の霊に捧ぐとの趣旨で建立された。白く真直ぐな塔列は規律正しい隊列を組み、銃を肩に出陣する若者の群を表している。英霊の心と残された者の心を繋ぐ不朽の絆を形に表した。

## 三才山

### 6 えぼし岩奥宮



古代の浅間社の奥宮で平安末期以来この様な奇形をした岩は、神が宿る磐座として信仰が厚い。この岩は本郷山の奥深く、本沢と中の沢との間にある山の峰に高く位置し、女鳥羽川の源流も近くから源を発している。そのため水神とし、又山の神として流域にある関係神社の頂点にあり、古くからの雨乞いの神。

### 10 御射(みさ)神社秋宮



古くは浅間社と呼ばれ、浅間郷(本郷6ヶ村の三才山・稲倉・洞・原・水汲・浅間)で本郷山と女鳥羽川を祀る社で、烏帽子の前山。建武2年(1335)赤沢氏により諏訪から御射山社を勧請合社して御射神社秋宮となった。虚空蔵宮は松本城主水野氏が鬼門除けとして再興。他に子安宮を祀る。

## 稲倉

### 21 稲倉城跡(松本市史跡)



稲倉城は山城で、室町時代初めから戦国時代末期の天正11年(1583)まで、浅間郷の領主であった赤沢氏の本城である。城は、稲倉北方の尾根約500mにあり、急峻な岩壁と空堀を擁している。主廓は標高約1000mで、南西に5段をつけ大堀に達し、副廓は西斜面に曲輪が発達し、更に南に物見台、下に居館跡がある。

### 27 水口神社



稲倉と岡田方面の開発のため、女鳥羽川から揚水する大口堰(岡田堰)の堰口に建てられた女鳥羽川を祀る水神。平安時代の延喜式にのる岡田神社はこの社。明治44年御射神社秋宮に合社され、遥拝所となる稲倉学校が一時設置される。

## 洞

### 34 早落(はやおとし)城跡



中世、赤沢氏(稲倉城主)の支城で洞城と言ったが、小笠原氏は奪って岡田郷の井深城主後序氏に与えた。天文19年(1550)武田氏が林城を攻略した際に赤沢氏はいち早く攻め落としたので、早落城と呼ばれるようになった。赤沢氏は家臣の林氏に守らせたが、天正10年(1582)に廃城。尾根に3つの廓と4条の空堀が残る。

### 35 住吉神社



早落堰取入口の水神。大阪の住吉神社を勧請。社殿は明治44年官命により御射神社春宮に合社され、戦後本郷小学校奉安殿(御真影と教育勅語を安置)を移して再興される。境内に耳きき様を祀り、小穴のあいた皿が多数奉納されている。

## 原

### 44 平野神社



平安時代に本郷・岡田が京都の平野神社の荘園であった頃の創建。明治44年神社合併の官命により御射神社春宮に合社され、古い棟札4枚がある。本殿は秋宮に移されたが、昭和17年本殿を新築し再び京都から勧請される。女鳥羽川に東面し、川水の豊富を祈っている。江戸時代の祭日は水無月の旧6月15日。

### 49 穴田の観音堂・常光寺跡



この堂は、現在より東方約300mの山麓にあったが、大破したので宝暦11年(1761)現地に再建。この堂はこの東側にあった有福山常光寺(曹洞宗で井深の慶弘寺の末寺)に付属した堂で、元禄時代にあった6間3間の本堂は、文久2年(1862)に焼失。本尊聖観音は江戸初期の秀作。松本33番札所の28番で御詠歌がある。

## 水汲

### 55 水汲阿弥陀堂跡



墓地の北側に堂があり、元禄16年(1698)の書上帳に『阿弥陀堂跡、但し堂は御座無く、客殿有り、南向き…』とある。その後客殿も廃されて水田となる。現在、墓地の入口には念仏塔や地藏や馬頭観音などがある。

### 57 水汲疱瘡神社



古くから水汲で祀った疱瘡神。明治12年神社明細帳に載り『祭神宇伽之神保倉神 拝殿2間2間、境内56坪 信徒30戸…』とある。昭和40年頃までは4月に幟を立て盛大に祀った。社前に享保17年(1732)と嘉永4年(1851)の青面金剛庚申塔。優れた道祖神が建つ。

## 浅間温泉

### 67 神宮寺



平安時代末に浅間社の別当寺として創建された真言宗の寺。室町時代に臨済宗、江戸初期に京都の妙心寺派となる。江戸末から寺小屋(学校)が開設され廃仏毀釈の難を逃れた。薬師堂は昭和33年に平安時代の御堂建築を模して新堂が新築され、本尊薬師如来(市重要文化財)は平安後期の古仏である。本堂は昭和36年に再建された。

### 68 御射(みさ)神社春宮



830年以上も古くから浅間社と呼ばれ、神宮寺と本郷6ヶ村を社領とする大社。その後浅間の地頭赤沢氏が諏訪から御射神社を勧請したので御射神社春宮となる。松明祭りは虫送り行事から起こり、三才山の秋宮から押鉾に乗せてきた神様を、夜松明の灯火で送る行事であり、昼の押鉾がお祭りの主体。

## 浅間温泉

### 69 御殿山小笠原家廟所



松本市史跡

松本城の基礎を築いた初代小笠原家の城主小笠原貞慶、秀政・忠脩父子を祀った廟所。特に忠脩の遺骨が埋葬されている。五輪塔は向かって右より秀政、貞慶、忠脩。現在の五輪塔は貞享2年(1685)松本城主水野忠直によって建立された。また当時の御霊屋は天保12年に焼失したままで、石垣を残すのみである。

### 70 御殿山天満宮



松本市重要文化財

万治2年(1659)9月松本城主水野職は安曇郡大野川の大樋山より多量の白銀が発掘されたのを祝福祈念して浅間御殿を改修し、御殿の裏山に守護神として天満宮(祭神菅原道真)を勧請した。松本城主はこの宮を文教の祖神とした。本殿は創建当時の様式が残り優れている。水野氏の紋が刻まれている。

## 南浅間

### 100 大輔原(たいほうばら)遺跡



大輔原遺跡は、北は第一高校から南は元町までにわたり、平成元年から8回の発掘調査により、7~9世紀の遺物や集落跡が発掘された。建物跡や、役所で使用したと思われる硯、緑釉陶器、帯金具等が出土している。国府に関連した役所や施設があったかもしれないと言われる。

### 101 国司塚



寛文5年(1665)の検地帳には、国司塚地名の畑が1町9反(1.9ha)ある。塚に2説ある①古墳②台風で国府庁舎が倒れ圧死した信濃守紀文幹の塚。小社があり、江戸時代は6月15日に祭典が行われた。国司塚は大村の大宮神社の奥社で昔から大村の人々に大切に保存されてきた。

## 惣社(そうざ)

### 105 地藏堂



惣社公民館の脇にある。地藏堂は元禄時代には2間3間の板葺きの建物だった。本尊は1尺3寸の古仏。近くには弘化2年(1845)の六地藏、寛政9年(1797)の念仏塔、元文5年(1740)の庚申塔、宝暦8年(1758)の釈迦如来などの石造文化財がある。

### 110 伊和神社と大ケヤキ



現在の惣社という集落名は信濃国府の総社があった地ということであらう。また、伊和神社の社名については、諸説がある。鳥居の両側に立つ大ケヤキは推定樹齢千年と言われ、この神社の古さを物語っている。

## 大村

### 114 玄向寺(松本市名勝境内)



約450年前下浅間に創建された念仏の寺。江戸初期に現在地に移り、松本城主水野氏の廟所となり玄向寺と改称。境内には水野氏歴代の墓、女鳥羽観音堂、信濃百番観音、槍ヶ岳開山の幡隆上人立像、上人書の念仏塔等がある。ぼたんが有名で、約120種800株、開花時期も長い。

### 118 大宮神社



鎌倉後期この地が諏訪大社造営の筑摩、安曇の筆頭郷であったとき、この地の鎮守として祀られたものであろう。元禄11年(1698)の神社仏閣改帳には諏訪大明神、明治に大宮神社。この地で圧死した信濃守紀文幹の霊が合祀されたという。国司塚の氏子の範囲は、大村のうち上村分だけ。

## 横田

### 126 横田神社



元禄11年(1698)書上帳には諏訪大明神とある。祭神は建御名方命、元禄3年(1690)に建立。本殿の作りは良い。拝殿内に俳句や健勝祈願の奉額がある。また、木製の陰陽を形どった道祖神がある。

### 128 横田池跡・弁天様の池



古くから池があり、村民はここに弁天様を祀った。弁天様の湧水を利用して安政3年(1856)から2年間の工事で面積1町2反余の用水ため池の横田池が完成。昭和56年廃池され運動場となる。横田池跡碑は弁天様の池にあり、同年横田財産組合で建立、文学博士所三男の書。



# トレッキングコース紹介

各コースにある★印はそのコースの難易度を大まかに示したものです。個人差がありますので、あくまでも目安としての参考にしてください。

★1個=気軽に楽しめる初級者コース ★2個=気軽に楽しめる初・中級者コース ★3個=中級者コース  
 ★4個=アップダウンがある中・上級者コース ★5個=注意が必要な上級者コース

凡

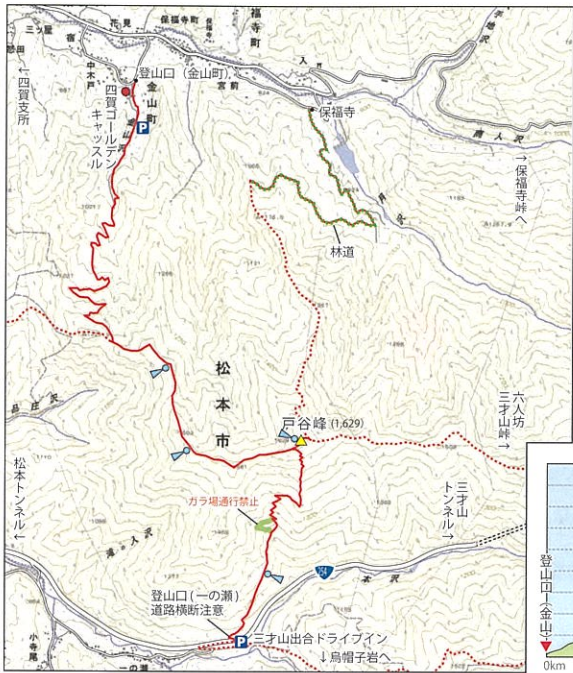
- 登山道・遊歩道 ▲ピーク
- 県道 ●ポイント
- ★おすすめのポイント
- トイ
- ビューポイント
- 駐車場

## 1 戸谷峰コース ★★★★★ 約6.9 km

- 一の瀬～戸谷峰コース ★★★★★
 

三才山一の瀬から登るコース。戸谷峰へ最短で登ることができます。落葉樹が多く、紅葉のころは一面が黄色いじゅうたんで覆われます。
- 金山町～戸谷峰コース ★★★★★
 

金山町から登るコース。入口はゴールデンキャスルが目印。道は林道を再整備したもので、道幅は広がっています。尾根に出てからは、アップダウンが続きます。ビューポイントからは美鈴湖を眼下に見ることができます。



## 2 烏帽子岩コース ★★★★★ 約7.5 km

- 三才山一の瀬～烏帽子岩～武石峰・思い出の丘
 

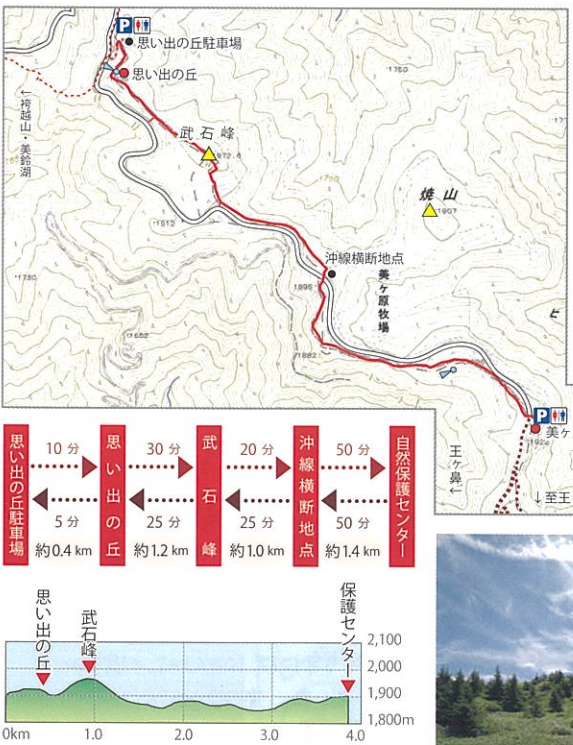
三才山一の瀬から烏帽子岩を経由して武石峰・思い出の丘に至るコース。烏帽子岩やその先の林道は北アルプスを望む隠れたポイントとなっています。烏帽子岩は近くに行くとその大きさが良く分かります。日本全国に烏帽子岩と呼ばれるものはありますが、この岩は3本の指に入るといわれているほど見事な景観となっています。



## 3 武石峰コース ★★★★★ 約4 km

- 思い出の丘～自然保護センター
 

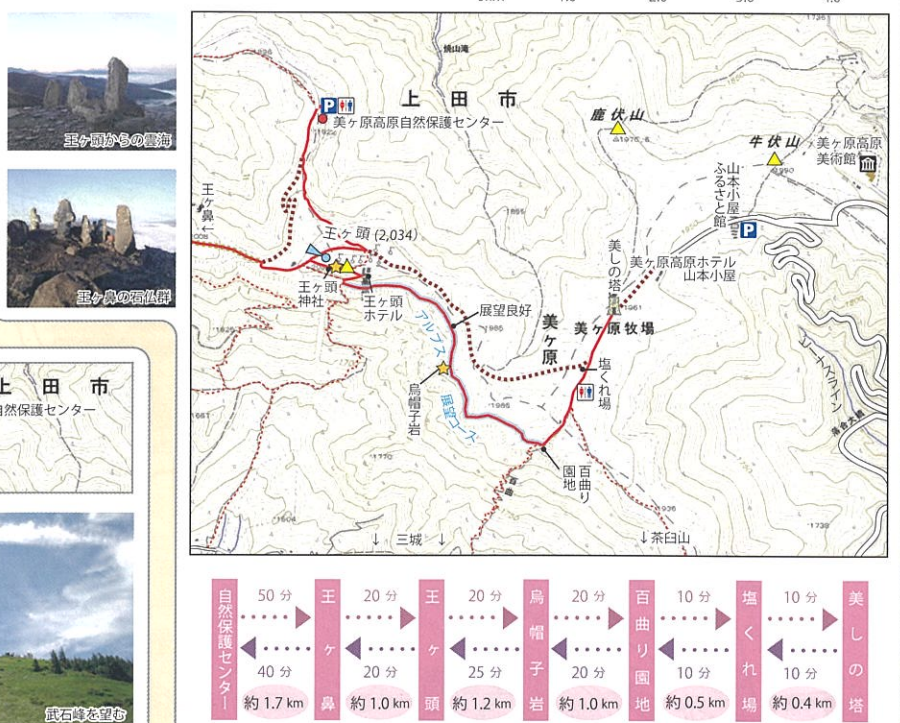
コース全体を通して遮る木が少なく、西に北アルプス、東に浅間山と景観に優れたコースです。レンゲツツジの一大群生地でもあり6月中旬には、一面が美しい朱色に染まります。



## 4 美ヶ原台上コース ★★★★★ 約5.8 km

- 自然保護センター～百曲り園地
 

保護センターから王ヶ頭までは、天狗の露路を経て遊歩道を登っていきます。王ヶ頭から先のアルプス展望コースは南北アルプス、天気が良ければ富士山も見える絶景のコースです。  
 ※地図中の烏帽子岩は【2 烏帽子岩コース】の岩とは異なります。



安全にトレッキングを楽しむために

美ヶ原高原ロングトレイルは豊かな自然の中に設置されています。魅力あふれる自然は一方で事故や遭難などの危険も潜んでいます。ロングトレイルでの安全管理は、歩道を歩く皆様一人一人の責任で行ってください。





吟道大会に参加 (青山様・ぼんぼん)



ボランティア活動



八幡様と花壇



石垣・田園の日の出風景



稲倉峠



品庄山



岩巢山



稲倉城址遊歩道図



# 洞・原 (一部)

## 洞公民館



### 運動会・文化祭



### ホテル祭り



### 夏祭り・ダンボ



### 浅間カントリーから



**南洞のダンボ**

お盆に子どもたちが集まり、ご先祖様を迎えるために行う。細長く巻いたワラの先に火をつけて、グルグルと回す。昭和初めから行われている。



# あさま 浅間温泉

本郷地区文化祭



音楽祭



浅間温泉文化センター

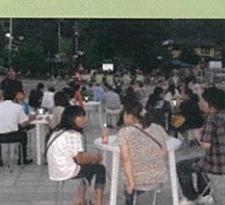
浅間温泉夏まつり



浅間温泉フェスタ



浅間温泉夕市



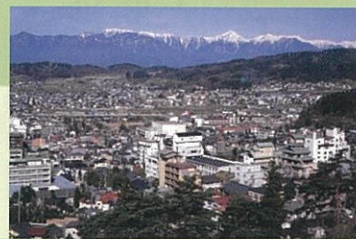
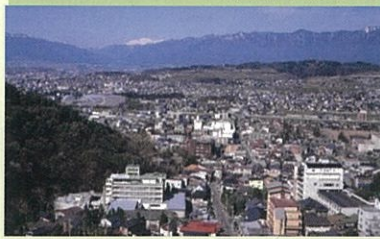
浅間温泉新そば祭り



浅間第8町会公民館



大音寺山遊歩道からの眺望



温泉



三九郎



浅間温泉火焰太鼓保存会



浅間温泉たいまつ祭り



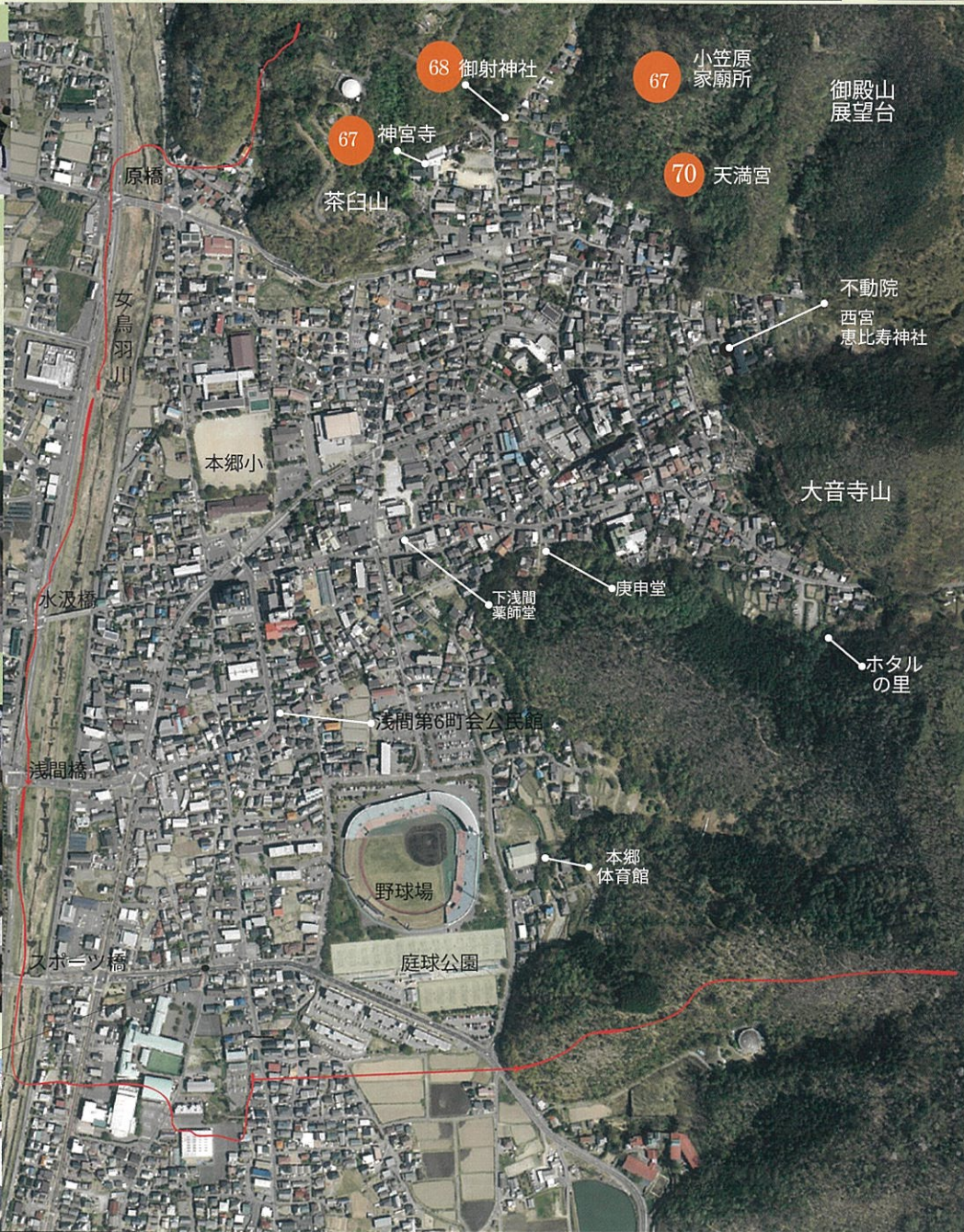
本郷若獅子太鼓



温泉入浴体験学習



横手の春祭り(第一町会)



里山ウォーキング



ホテル観察会



女鳥羽川観察会



キノコの駒打ち



ツール・ド・美ヶ原  
自転車レース



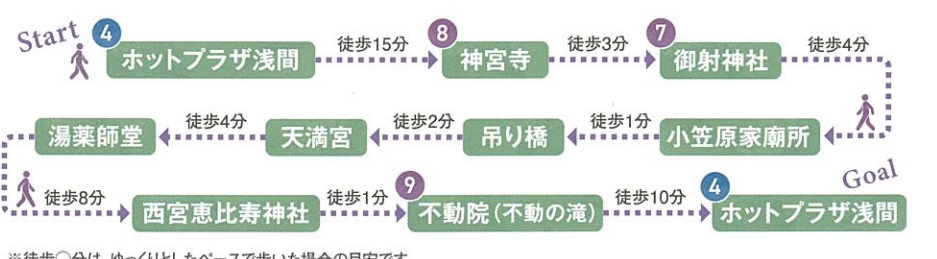


女鳥羽川の両岸には広がる芝生とベンチがあり、水の流れる音を感じながらのんびりとした時間を過ごせます。お散歩や休憩にオススメな場所です。※増水時は近づかないでください。

**約1時間~1時間半**

**史跡を巡ろう**

浅間温泉には神社やお寺、石造物が数多く残されています。四季折々の風景と一緒に、歴史との出会いを楽しみましょう。



**約1時間~2時間**

**浅間温泉街プラ**

浅間温泉の守り神を巡りながら、街並みを楽しめる! 途中、カフェやショップに立ち寄りゆっくりまわるのがオススメです。



北アルプス、  
松本平の  
ビュースポット

**道祖神**  
地域の守り神、子孫繁栄、旅や交通安全の神とされています。浅間温泉には10体の道祖神が祀られており、散策中に会った道祖神に旅の安全を祈るのもいいでしょう。

**桜ヶ丘古墳**  
地元の中学生によって偶然発見された、5世紀後半(古墳時代中期)の古墳。金銅製の天冠と鉄製武器などの副葬品が出土し、長野県宝に登録されました。出土品は、松本市考古学博物館に展示されています。

**散策マップ**  
浅間温泉  
~歴史を感じる、ホッと落ちつく街~

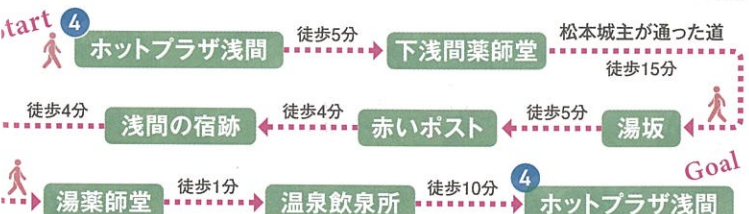
- 史跡・旧跡・公園・公共施設
- 旅館・ホテル・日帰り温泉
- 飲食店
- 商店

**日帰り温泉施設**

**ホットプラザ浅間**  
松本市浅間温泉3-16-2  
0263-46-6278

**湯々庵枇杷の湯**  
松本市浅間温泉3-26-1  
0263-46-1977

**仙気の湯**  
松本市浅間温泉3-4-22  
0263-46-5553



※徒歩〇分は、ゆっくりとしたペースで歩いた場合の目安です。

そうざ  
南浅間・大村・横田・惣社

南浅間公民館

納涼祭



水野家廟所



松本平最古の石鳥居



信濃百番観音



仁王門



114 玄向寺



幡隆上人立像



ぼたん祭り



101 国司塚



100 大輔原児童遊園



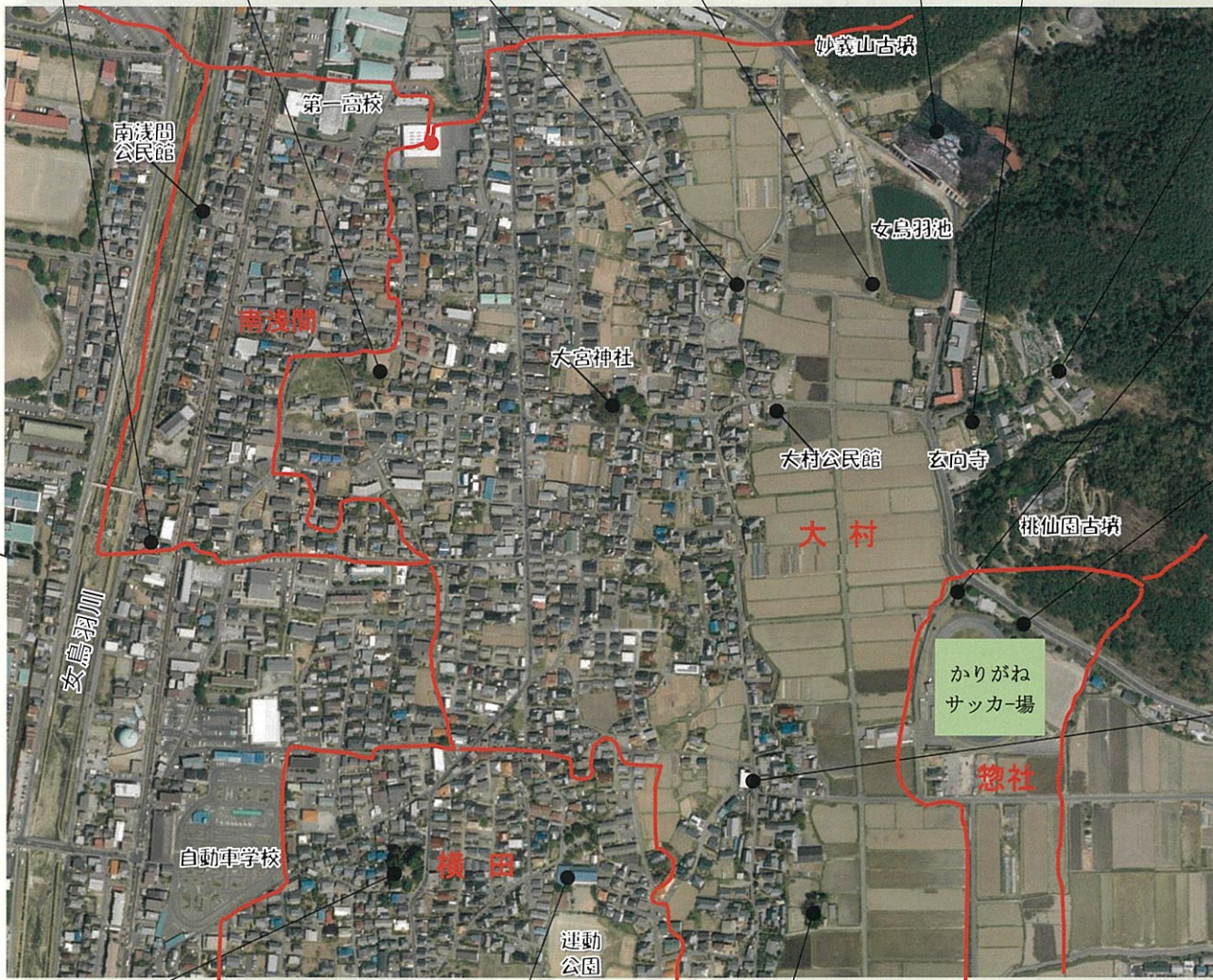
念仏供養塔



尊農ノ郷



鉾持社



蚕影神社



雁金池跡



光明真言供養塔



念仏供養塔 火の見櫓



清水井戸 (大村公民館前)



126 横田神社



稲荷神社



念仏寺跡石造物



118 大宮神社



弁天様の池



本郷南幼稚園



南郷児童館



横田池跡碑



社官司社



大村公民館



文化祭



田園マレットゴルフ



納涼祭



八日念仏



三九郎



**横田公民館**

(第3・5・6・7町)

横田ふるさと祭り

グランドゴルフ



横田松寿会

文化祭

道祖神祭

三九郎



**惣社公民館**

青山様

運動会



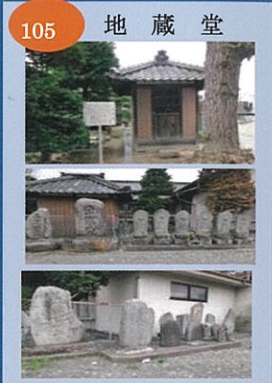
文化祭

納涼祭

三九郎



南郷保育園・こどもプラザ  
南郷福祉ひろば



**横田第1公民館**

文化祭

グランドゴルフ大会



運動会

健康講座



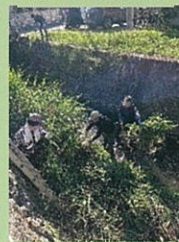
**横田第2公民館**

(公民館の建物は無い)

サロンどんぐりかい



湯川一斉清掃



青山様・ぼんぼん



防犯パトロール



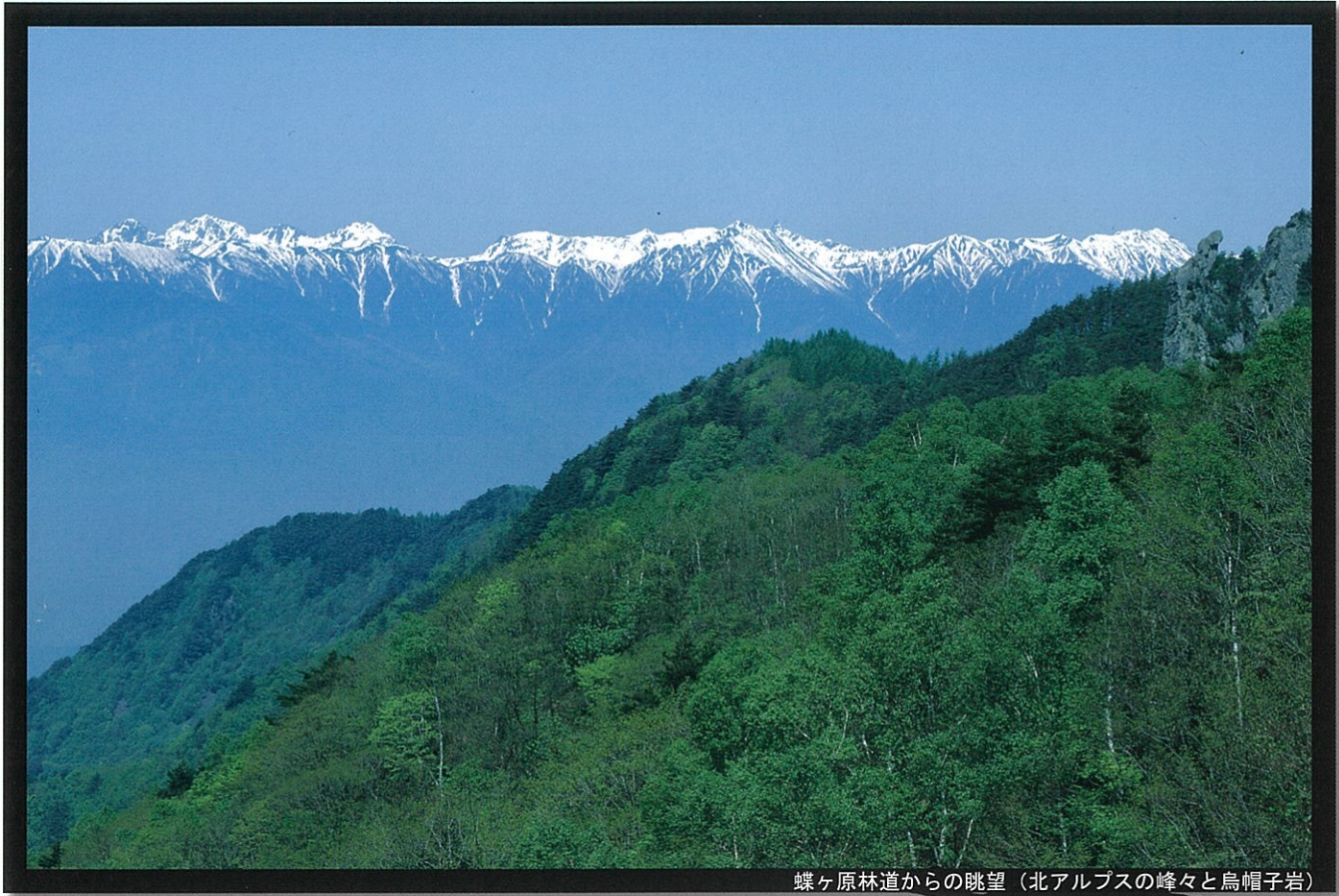
平成 27 年 9 月 松本市本郷地区地域学習テキスト作成委員会 【本郷公民館 浅間温泉 2-9-1 ☎46-1500 FAX45-1014】

■委員長： 新納睦夫 ■副委員長： 喜多久実子 ■委員： 笠原由次 月岡温 姥貝勇 野本道夫 春日三千郎 澤木明美

◆本郷公民館： 館長 瀧澤政二 主事 竹内則義 資料提供： 本郷地区景観整備委員会 本郷歴史研究会 浅間温泉観光協会

<イラスト> 喜多久実子 <切り絵> 松崎明美 <印刷> 藤原印刷株式会社

令和 8 年 3 月 一部改訂 担当者： 本郷公民館長 公民館主事 町内公民館長



蝶ヶ原林道からの眺望（北アルプスの峰々と烏帽子岩）



**本郷公民館**

毎年6月、浅間温泉街を通過して美ヶ原を目指す自転車レース「ツール・ド・美ヶ原」